

服用に際して、この説明書を必ずお読みください。
又、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

しょうせいりゅうとう
大峰小青竜湯錠Ⅱ

⚠️ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
 - むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。
 - 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりと息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位（感冒に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなりないう場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

（裏面もお読みください）

《効能又は効果》

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：

気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

《用法及び用量》

次の量を1日2回食前又は食間に、水又は白湯にて服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	4錠	2回
15歳未満7歳以上	3錠	
7歳未満5歳以上	2錠	
5歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

《成分及び分量》

大峰小青竜湯錠Ⅱの1日量（8錠）中には下記生薬より得た小青竜湯エキス（1/2量）1950mgを含む。

マオウ……………1.5g	ケイヒ……………1.5g
シャクヤク……………1.5g	サイシン……………1.5g
カンキョウ……………1.5g	ゴミシ……………1.5g
カンゾウ……………1.5g	ハンゲ……………3.0g

添加物として、CMC-Ca、クロスCMC-Na、無水ケイ酸、ラウリル硫酸Na、ステアリン酸Mg、セルロースを含有する。

《保管及び取扱い上の注意》

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本製品についてのお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

大峰堂薬品工業株式会社 「消費者相談窓口」

〒635-0051 奈良県大和高田市根成柿574

電話 (0745) 22-3601(代)

受付時間 9:00~17:00（土、日、祝日を除く）

製造販売元 **大峰堂薬品工業株式会社**

奈良県大和高田市根成柿574